



【学校教育目標】『やさしく たのしく げんきよく きらり輝く玉垣小』



玉垣小学校だより

令和8年9月7日（月）学校通信 第9号

2学期が始まりました

9月1日、2学期がスタートしました。一回り大きくなった子どもたちは、久しぶりに会った友だちと楽しそうに話をしながら、いつもよりも早く登校していました。なかには、「2学期もよろしくお願いします。」と丁寧に挨拶をしてくれる子どももいました。

さて、2学期は1年間のうちで、一番長く、学習や行事に取り組むには最適な学期です。いろいろな行事に向けて、それぞれの学年目標を意識し、友だちと協力し合い、豊かに成長してくれることを願っています。

始業式は、数日前からの猛暑を考慮し、オンラインで行いました。

始業式では次のようなことを話しました。

夏休み中に起こった災害（熊本では地震、千葉や石川、福井では大雨）により、亡くなったり、家を失ったりした人がたくさんいました。その人たちのために、自分にできることはないかと、全国からボランティアが支援に駆け付けました。それぞれの方たちは口を揃えて「人とのつながり」が大事だと言います。自分のことだけでなく、まわりに目を向け、気に掛ける、心を寄せることが大切です。「人とのつながり」が、困難な状況を乗り越える力になります。



2がっきしぎょうしきのおはなし

つながりを だいに みんなでせいちょうする 2がっき

たいせつな きもち

沖「いっしょう
けんめいが
かっこいい」沖

すること

まわりに 林をむけ、
じぶんにできることを
かんがえて とうどうしよう！

★「つながり」を大事にみんなで成長する2学期にしよう

● 学校生活でも

2学期には運動会など、みんなで力を合わせる行事がたくさんあります。困っている友だちはいないか、みんなが安心して過ごせているかなど、周りを想像してみてください。

● 小さな行動から始める

「トイレのスリッパを次の人のために揃える」といった小さな気づきと行動が、みんなを笑顔にし、学校を楽しく安心な場所に変え、自分自身の心の成長にもつながります。

【生活指導の江頭先生より】

★自分で自分の行動に「○(マル)」をつけよう

2学期も、自分自身の行動を振り返り、胸を張って「○」をつけられる人を目指しましょう。大切なポイントは次の3つです。

- **廊下を歩こう**：衝突や怪我を防ぐため、右側寄りを静かに歩き、自分と周囲の命を守りましょう。
- **はきものをそろえよう**：靴箱では脱いだあとに振り返り、「かかとをピッ!」とそろえて心も場所も整えましょう。

- ・ さしすせそうじ：合言葉（ささっと・しずかに・すみずみまで・せいいっぱい・そうじをしよう）を意識して、学校をピカピカにしましょう。

小さな良い行動を毎日積み重ね、カッコいい自分を作っていきます。

そして、始業式後の掃除では、こどもたちが自分の担当場所にさっと行って、役割分担しながら真剣に取り組んでいました。自分たちの環境を自分たちで整えることは大事なことです。

「はきものをそろえる」から「そろえる」というキーワードで、いろいろな場所が揃うように、なっていくといいです。「そろえる」ことで、みんなが気持ちよく、過ごすことができます。



学級指導の様子



学年指導の様子

「そろえる」を意識して校舎内をまわってみると・・・



すべての傘が巻いてあるので、出しやすいです。



避難訓練

9月1日は「防災の日」です。日本は自然災害が多い国です。



9月3日に、地震と地震に伴う火災の避難訓練を行う予定でしたが、雨天のため順延しました。しかし、翌日も雨だったため、一次避難（机の下にもぐる）と、火災の際の避難経路（家庭科室からの出火を想定し、そこを避ける経路）の確認をしました。訓練が自分事になるように、事前にシュミレーション動画を視聴し、なぜ訓練をするのか、指導を行いました。

過去の震災においても、普段の訓練や事前の取組により、多くの命が守られたという事例があります。

こどもたちにも「自分の命は自分で守る」という気持ちをもってほしいと思います。

